



筑波大学附属病院 ベスト・プラクティス 成果発表会

入場
無料

○ 日時：平成29年3月15日(水)
18:40~19:40

○ 場所：筑波大学医学地区
臨床講義室A

○ 開会挨拶
筑波大学附属病院 副病院長
(ISO・医療業務支援部 部長)
玉岡 晃

○ 司会進行
ISO・医療業務支援部 副部長
石井 一弘

発表予定者

田中 聡壮 (看護部ICU)	救急外来(ER)における採血時溶血の原因と改善策の検討
根本 清貴 (精神神経科)	多職種チームによる妊産婦に対するこころのケア
中川 遥 (看護部ICU)	ICU看護師間の申し送り手法の標準化 -標準化された引き継ぎプロセスが、鎮痛管理の質に及ぼす影響-
藤田 ひろみ (看護部)	TLT (チームレンビマinつくば) によるチーム医療実践：外来に おける経口分子標的抗腫瘍薬治療の有害事象管理と患者教育
小田倉 富雄 (患者サービス課)	患者相談(苦情・クレーム)のタイプ等別対処方法
井坂 由佳 (薬剤部)	薬剤師による内服薬の定期処方入力サポート

※ベスト・プラクティスとは：毎年、医療の質の改善の為に院内で実行された企画の中から、優秀な企画の表彰を行っております。

事務担当：患者サービス課
電話：029-853-3905/3748